

平成30年度

事業実施報告書



公益財団法人

やまがた健康推進機構

1 概 要

平成30年度は、4つの重点目標を設定し、その実現に向け事業を展開して参りました。

1つ目の「検診の品質管理の向上」については、厚生労働省等から示されている「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検を実施し、各検診委員会に結果を報告、改善に向け意見・助言をいただきました。併せて、住民検診における5つのがん検診に関しては、契約書に「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を添付し、仕様書に基づいた検診を実施いたしました。また、プロセス指標である精密検査受診率の向上に取り組み、5つのがん検診について許容値を上回り、大腸がん検診を除く項目が前年度を上回る受診率となりました。

2つ目の「がん総合相談支援センターの運営」においては、認知度の向上をめざしPR活動を展開する一方、相談員のスキルアップを図るため積極的に研修会に参加しました。また、ピアサポート事業の充実をめざし、養成講座を定期的で開催いたしました。加えて、様々ながん情報の発信としてハンドブック1万部を作成し、関係機関に配布いたしました。

3つ目の「持続可能な財政基盤の確保」では、検診事業収入対策検討委員会を設置、検診センター毎に目標値を設定し、未受診者対策などに積極的に取り組み、前年度を上回る検診事業収益を確保しましたが、掲げた目標額の達成には至りませんでした。なお、支出については、競争入札制度の実施のほか、組織を挙げての費用抑制を図り、経常収支は6年連続でプラスとすることができました。

4つ目の「働き方改革」は、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する基本方針を基に取り組みました。同一労働同一賃金に関しては、専門家の意見を頂戴し日々雇用職員への通勤費支給を規程化するなど、現規程や要綱等の改正に努めました。他方、時間外労働については、「基幹システム」の更新作業においてワーキンググループを開催し分析等の業務が多忙となったこともあり、目標のとおり結果とはなりません。働き方改革については、次年度以降も継続して時間外労働の縮減や年次有給休暇の取得促進等に取り組んで参ります。

なお、長年の懸案であった「基幹システム」の更新に関しては、平成31年4月1日の本格稼働に向けて、職員が一丸となり対応し準備を整え、本稼働を迎えております。

また、5ヶ年計画である第1次中期運営計画については、今年度が最終年度にあたりましたが、進捗状況の思わしくない施策を引き続き推し進めるため、1年間延長とし、次期中期運営計画の策定は、次年度に行うことといたしました。

以下、8つの施策についての事業の詳細は、以下のとおりです。

平成 30 年度 各種事業評価結果 (一覽)

評 価	評価内容	件数 (90 件中)
達 成	達成指標に達した	38 件 (42%)
一部達成	一部達成指標に達した	20 件 (22%)
未 達 成	達成指標に達しなかった	23 件 (26%)
未 着 手	取り組みを行っていない	7 件 (8%)
未 実 施	実施計画が無くなった	2 件 (2%)

施 策 1 県民に対する健康情報等の提供と調査研究事業の推進

事 業 計 画	評 価
(1) -①プロジェクトチームの設置と統一した事業展開	一部達成
(2) -①重点啓発月間(9月～10月)を中心にイベント等に参画、 県民参加型大規模イベント「やまがた健康フェア」へ参画	一部達成
(2) -②その他各種イベント・キャンペーン等へ参画	一部達成
(3) -①中学生徒へ防煙教育用パンフ「たばこと健康」の配布	一部達成
(3) -②若者のがん検診を通じたがん教育	達成
(3) -③がん教育への支援	達成
(4) -①編集委員会の定期開催	一部達成
(4) -②機関紙「しあわせ」発行	達成
(4) -③内部情報誌の発行	未達成
(5) -①検診関係者への研修会実施	一部達成
(6) -①出前講座の展開	達成
(6) -②出前講座パンフレット作成	未実施
(7) -①ホームページ、SNSの充実	一部達成
(7) -②年間アクセス等	一部達成
(8) -①維持会募金	未達成
(8) -②複十字シール募金	未達成
(9) -①山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会	未達成
(9) -②山形まめの会	達成
(10) -①事業年報の作成	未達成
(10) -②統計資料等の利用しやすい環境整備	未着手
(11) -①『個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究』に協力	未達成
(11) -②研究機関等への協力、データ提供	一部達成
(12) -①アドバイザーボードの設置	未達成
(12) -②学会等での研究発表	達成

施策 2 検診受診率と精密検査受診率の向上

事業計画	評価
(1) -①新規事業所訪問	未実施
(2) -①市町村との連帯強化	一部達成
(2) -②協管けんぽの受診者勧奨事業等を活用した事業所訪問等	一部達成
(3) -①事前連絡と未受診者への受診勧奨強化	未達成
(3) -②小規模事業所の拾い上げ等	未達成
(4) -①指導内容の向上、3ヶ月特定保健指導拡大の検討	達成
(5) -①受診率向上対策の検討・実施	一部達成

施策 3 満足度と質の高い検診サービス等の提供

事業計画	評価
(1) -①利用しやすいマニュアルへ見直し	未着手
(2) -①新たな検診項目、メニュー等の抽出、検討	達成
(3) -①スムーズな健診への取組み	一部達成
(3) -②接遇満足度日本一に向けた取組み	未達成
(3) -③検診結果通知の迅速化	一部達成
(4) -①女性スタッフのみによる検診日程の策定、PRの実施	一部達成
(4) -②女性医師の確保推進	施策7(2)再
(5) -①C T導入の方向性の決定 胃内視鏡検査導入の方向性等の検討	未達成
(6) -①相談事業	達成
(6) -②相談員のスキルアップ、養成等	達成
(6) -③アドバイザリーボードによる指導	達成
(6) -④出張相談事業の展開	達成
(6) -⑤専門部会の開催	達成
(6) -⑥拠点病院等との連携	達成
(6) -⑦相談しやすい環境の整備	達成
(6) -⑧ピアサポート事業の推進 計画的な講座の開催	達成
(6) -⑨サロン開設主体等の方向性の検討	達成
(6) -⑩様々ながん情報の発信 ホームページの充実、ハンドブック等の作成	達成

施策 4 検診の精度管理と事業評価

事業計画	評価
(1) -①チェックリストに基づいた点検と公表	達成
(2) -①各検診センターでのプロセス指標に基づく評価と公表	達成
(3) -①住民検診に係る契約書に仕様書を加える	達成
(4) -①6つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度管理評価、指導	達成
(5) -①チェックリストを踏まえた読影医の体制整備	達成
(5) -②症例検討会の定期開催	一部達成
(6) -①専門技術職の資格等の計画的取得促進	達成
(7) -①日本臨床検査技師会他5箇所からの外部評価	未達成
(8) -①本部、支部会議の定期的開催、改善策の現場周知徹底、報告・対策・完了報告の徹底	未達成

施策 5 ICTの積極的な活用と計画的な検診機器等の整備更新等

事業計画	評価
(1) -①利用者拡大対策の決定、実行	達成
(2) -①基幹システム更新の確実な工程管理	達成
(3) -①内部監査による実行確認	未達成
(3) -②Pマーク取得の検討、準じた対策の検討	未達成
(4) -①検診車 DR 化	達成
(5) -①原則、検診機器等については長期使用	一部達成
(6) -①検診車の集約化	達成

施策 6 持続可能な事業運営の確保

事業計画	評価
(1) -①プロジェクトチームの設置と統一した事業展開	達成
(1) -②受診者数等の数値目標の設定	未達成
(2) -①毎事業年度の経常収支の黒字の確保	達成
(2) -②資金積立を前年事業年度決算の減価償却以上の積立	達成
(2) -③予算編成手法の検討、実施	未達成
(3) -①外部委託業務の選定	達成
(4) -①5つの検診センターの集約化等の検討素案策定	未着手
(4) -②最上検診センター改築整備計画素案の策定	達成
(5) -①第1次中期運営計画の推進	一部達成
(5) -②次期中期運営計画策定	未着手

施策 7 人材育成と働き方改革

事業計画	評価
(1) -①業務量に応じた適切な人員配置	達成
(2) -①産婦人科医師の確保、計画的な医師の採用	達成
(3) -①人材育成計画の策定	未達成
(3) -②中堅、若手職員のための研修等の検討、実施	未着手
(3) -③自発的な勉強会への支援	未着手
(4) -①職員考課制度の定着と信頼性を高める取組み推進	未達成
(5) -①給与制度の見直し、検討	未着手
(5) -②職員考課制度の給与への反映検討	施策7(4)再
(6) -①働きやすく、働きがいのある職場づくりに向けた取組み	未達成
(6) -②同一労働同一賃金、非正規職員の処遇改善、在り方の検討	一部達成
(6) -③仕事の効率化の検討	未達成
(6) -④環境にやさしい事業活動の取組み	未達成

施策 8 ガバナンスを強化した法人運営

事業計画	評価
(1) -①代表理事及び業務執行理事の業務施行状況の逐次報告	達成
(2) -①役員に対する法人情報の逐次報告	達成
(3) -①財務諸表、事業報告、役員給与等の公表、労働組合との交渉概要の報告等	達成
(4) -①役職員の報酬、給与等の評議員会報告、外部公表の検討	一部達成
(5) -①外部公表基準の策定、基準のホームページ公開等	未達成

2 各種事業

施策 1 県民に対する健康情報等の提供と調査研究事業の推進

<事業推進の基本的考え方>

- ・様々な機会、媒体を活用し食生活や生活習慣の見直し、がん予防、検診の重要性等に関する知識を県民に対して提供してまいります。
- ・事業推進にあたっては、広報目的を明確にし、費用対効果の観点も十分に検討しながら、効果的なものとなるよう検証していきます。
- ・検診、検査データの集計、分析等を行い、検診実施主体等に提供するなど有効活用に努めてまいります。
- ・各種調査研究活動を積極的に行い、質の高い検診事業を展開します。
- ・統計資料等の集中管理等を行い、誰もが簡単に利活用できる環境整備を行います。

(1) プロジェクトチームによる年間事業の企画と実施

①プロジェクトチームの設置と統一した事業展開

【評価：一部達成】

【達成指標】 プロジェクトチームを設置し全体事業を企画、進捗管理による確実な実施推進

【実施状況】 5月に広報・啓発活動プロジェクトチームを設置し、委員を選出。

7月20日(金)第1回プロジェクトチーム会議開催。(全体方針を決定し、有効な媒体、今後の進め方等内容検討)

11月予定の会議は新しい就業システム導入と給与システムの連動調整作業等の対応に追われ、開催に至らず。

(2) イベント等への参加

①重点啓発月間(9月～10月)を中心にイベント等に参画

【評価：一部達成】

県民参加型大規模イベント「やまがた健康フェア」へ参画

【達成指標】 チラシ・パンフレット等 1,500名以上(3,000部以上)配布

【実施状況】 内容については以下のとおり。

開催日	開催イベントと実施概要
9月22日 ～9月23日	<p>やまがた健康フェア 2018(第5回)参画・イベント開催(会場:山形ビッグウイング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員として参画、機構ブースを出展、無料骨密度測定 169名実施。来場者に対しがんに関するパンフ等を1,000名(5種5,000部)に配布啓発。子宮・乳がん検診の無料クーポン券を27名に配布。 ・山形県がん総合相談支援センターブースを出展、相談コーナーを開設し、70名にがん相談を実施。9/23ステージイベントを企画、国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾医師による基調講演に200名が参加し、センター周知・PRとがんに関し啓発。

②その他各種イベント・キャンペーン等へ参画

【評価：一部達成】

【達成指標】 全検診センターでのイベント・キャンペーンを参画 チラシ・パンフレット等 2,500部以上配布
各市町村主催の「健康まつり・文化祭」への協力 県内15箇所以上

【実施状況】 状況については以下のとおり。

開催イベントと実施概要	
・やまがたピンクリボンフェスタ 2018 参画・イベント開催（会場：山形ビッグウイング） 実行委員として参画、ブースを出展。	
検診 C でのイベント・キャンペーン参画	
・山形県総合運動公園第 2 駐車場 10/14 実施 300 名（4 種 1,200 部）配布 ・イオンモール山形南 10/30 実施 200 名（4 種 800 部）配布 ・新庄市「ゆめりあ」 6/23 実施 40 名（5 種 200 部）配布 ・米沢市体育館 10/ 6 実施 700 名（2 種 1,400 部）配布 (1,240 名 3,600 部配布)	
健康まつり・文化祭への協力	
・遊佐町健康まつり 10/20、28、11/4 実施 ・真室川町健康福祉まつり 9/2 実施 ・最上町健康まつり 11/11 実施 ・高畠町ピンクリボンスマイルウォーク 10/14 実施 ・おきたま病院健康まつり 2018 10/20 実施	(7 箇所)

(3) 児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進

① 中学生徒へ防煙教育用パンフ「たばこと健康」の配布

【評価：一部達成】

【達成指標】 防煙パンフレットの配布 県内中学校 50 校以上

【実施状況】 県内中学校 99 校中、希望のあった 22 校に 3,217 部（防煙パンフ「たばこと健康」）を配布。

② 若者のがん検診を通じたがん教育

【評価：達成】

【達成指標】 受講拡大 1,000 人以上

【実施状況】 状況については以下のとおり。

	村山地区	庄内地区	最上地区	置賜地区	合計
	山形 C	庄内 C	最上 C	米沢・南陽 C	
稼働日数	24 日間	10 日間	9 日間	9 日間	52 日間
大腸がん検診	170 名	74 名	32 名	22 名	298 名
肺がん検診	124 名	45 名	24 名	18 名	211 名
胃リスク検査	222 名	108 名	44 名	34 名	408 名
乳房超音波検査	278 名	55 名	—	—	333 名
延べ人数	794 名	282 名	100 名	74 名	1,250 名
受講人数	373 名	142 名	48 名	35 名	598 名

(H31.3 月末)

③ がん教育への支援

【評価：達成】

【達成指標】 教員を対象としたがん教育に関する研修会の共同開催、企画内容の充実

【実施状況】 山形県教育委員会との共催により、教員等に対し講演会を開催。

12 月 4 日(火) 対象:県内小中学校教員等 約 60 名

山形市総合スポーツセンターにおいて、東京女子医科大学がんセンター所長 林和彦氏による学校におけるがん教育についての講演。

(4) 健康情報誌等の作成

①編集委員会の定期開催

【評価：一部達成】

【達成指標】 2ヶ月に1回以上の開催、内容の充実

【実施状況】 4月に編集委員会委員を改選、7月24日(火)第1回、8月9日(木)第2回編集委員会開催。以降は、新基幹システム導入に向けたワーキンググループとの兼ね合いから委員会の開催が難しく、随時委員との個別意見交換等により情報を共有。

②機関紙「しあわせ」発行

【評価：達成】

【達成指標】 年2回以上 各5,000部発行、企画内容充実

【実施状況】 9月号(No.86)、3月号(No.87)を各5,000部発行。

従来からの健康情報に加え、主催する健康支援セミナーや山形検診センターへの小学生の企業訪問記事など、様々な内容を掲載。

③内部情報誌の発行

【評価：未達成】

【達成指標】 年内2回以上の発行、企画内容充実

【実施状況】 情報発信、周知方法については、デスクネット等を利用するという方向性のみ決定。

今後、機関紙との内容の整理等について検討が必要。

(5) 健康管理担当者への研修会実施

①検診関係者への研修会実施

【評価：一部達成】

【達成指標】 10月末まで開催 企画内容の充実、次年度事業(案)周知等実施

【実施状況】 市町村及び事業所向け研修会は以下のとおり。

所 属	内 容
山形C	1/30 健康支援セミナー 「高血圧・糖尿病（腎症を含む）に有用な検査」 2019、2020 事業(案)説明及び報告 (市町・事業所担当者 70名参加)
庄内C	11/28 健康支援セミナー 「慢性腎臓病って何ですか？」 新検診システム説明及び報告 (市町・事業所担当者 46名参加)
最上C	2/27 市町村担当課長及び担当者会議 「高血圧・糖尿病（腎症を含む）に有用な検査」 新基幹システム概要について説明及び報告 (保健所・市町村担当者 14名参加)
米沢C	3/8 健康管理担当者研修会 「職場におけるメンタルヘルス・米沢市健康長寿日本一のまちづくり」 2019 事業(案)説明及び報告 (事業所担当者 49名参加)
南陽C	2/28 市町担当課長等会議 「高血圧・糖尿病（腎症を含む）に有用な検査」 2019 事業(案)説明及び報告 (市町担当者 25名参加)

(6) 出前講座等の開催

① 出前講座の展開

【評価：達成】

【達成指標】 各検診センター3回以上の開催

【実施状況】 状況については以下のとおり。

所属	実施回数	受講者数	所属	実施回数	受講者数
山形C	20回	822名	米沢C	5回	140名
庄内C	13回	431名	南陽C	7回	378名
最上C	3回	334名	合計	48回	2,105名

② 出前講座パンフレット作成

【評価：未実施】

【達成指標】 年度毎に特色を持ったパンフレットの見直し作成

【実施状況】 各検診センターの使用状況を確認したところ、在庫が十分にあり使用に問題ないため継続使用することとし、資料作成は次回に見送り。

(7) ホームページ等の充実、強化

① ホームページ、SNSの充実

【評価：一部達成】

【達成指標】 全検診センターから情報発信手法の検討、タイムリーな情報掲示

【実施状況】 健康情報（レシピ・運動・食生活）、時間外乳がん検診、ワンコイン検診、正規・嘱託職員の募集、がん征圧月間、結核予防週間等について随時掲載。

広報・啓発活動プロジェクトチーム会議において、各検診センター主催のイベントの告知・報告を facebook にて掲載することを決定し、状況は以下のとおり。

山形C 9月(2回) やまがた健康フェア 2018 のお知らせ、開催後の報告

庄内C 10月(1回) 遊佐町各地区センター祭りのご案内

米沢C 10月(1回) 遊学よねざわ 2018 のご案内

南陽C 10月(1回) おいたま病院健康まつり 2018 のご案内

② 年間アクセス等

【評価：一部達成】

【達成指標】 HP 15,000 件以上・年 15 回以上更新、フェイスブック掲示 20 回以上

【実施状況】 以下のとおり。

HPアクセス数	HP更新	SNS 掲示
14,524 件	24 回	42 回

(8) 維持会、複十字シール募金拡大

① 維持会募金

【評価：未達成】

【達成指標】 370 万円以上

【実施状況】 9 月から個人、法人会員共に今年度の継続加入依頼通知書を送付。

各検診センターで新規募金協力を呼びかけ合計 9 団体より協力をいただいた。

1 月に未継続者に対し再度募金協力を呼びかけた。

平成 31 年 3 月末日現在募金額 3,138,962 円。
 (個人 176 名 380,000 円、法人 79 団体 2,758,962 円)

②複十字シール募金 【評価：未達成】

【達成指標】 70 万円以上
 【実施状況】 8 月 3 日(金) 複十字シール運動の趣旨を山形県に P R し協力を要請。
 (山婦協役員と職員 9 名が県庁を表敬訪問し、本庁内に募金箱の設置等の協力を得た)
 8 月山婦協構成団体(婦人連盟・商工会・J A) に募金を協力依頼。
 9 月からの各種イベント、キャンペーン時に、募金箱を設置し協力を呼びかけた。
 平成 31 年 3 月末日現在募金額 645,846 円。

(9) 各種団体との連携

①山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会 【評価：未達成】

【達成指標】 健康づくり等の支援 年 6 回以上
 【実施状況】 状況については以下のとおり。

開催日	開催健康づくり等と実施概要
10 月 16 日	平成 30 年度 山婦協研修会 (会場：ホテルリッチ&ガーデン酒田) ・講演 演題「体を動かしていつまでも健康に！」 講師 公益財団法人やまがた健康推進機構 庄内検診センター 主任保健師 堀米 麻美 ・講演 演題「各年代に応じた食生活について」 講師 庄内保健所 健康増進主査 成澤 美智子 先生 ・参加者 庄内地区会員 57 名
6 月 23 日	第 25 回新庄市民健康福祉まつり 乳がん検診普及啓発講演 (会場：新庄市「ゆめりあ」) 会員 5 名参加
10 月 24 日	山婦協小ブロック研修会 (会場：金山町中央公民館) 会員 22 名参加
3 月 6 日	山婦協小ブロック研修会 (会場：熊野大社「證誠殿」) 会員 59 名参加

②山形まめの会 【評価：達成】

【達成指標】 H30 年度以降の在り方検討、見直し
 【実施状況】 全国よろこびの会が平成 30 年度の総会(平成 30 年 6 月 21 日)をもって解散することに合わせ、5 月役員会において新規加入もなく、70 歳以上の方が 3/4 以上を占め、各種行事への参加も少なくなってきていることから、今年度末をもって解散することを確認し、第 38 回山形まめの会総会時に会員に諮り、承認を得た。平成 30 年度決算報告をもって解散の予定。

(10) 検診・検査データの集計分析と実施主体が必要とするデータの提供

①事業年報の作成 【評価：未達成】

【達成指標】 前事業年度分を年度内に発行
 【実施状況】 作成委員会を設置し、構成内容の確認及びスケジュール管理を行い作業。基幹システムの導入等と時期が重なり遅延し、平成 31 年 4 月に発刊。

②統計資料等の利用しやすい環境整備

【評価：未着手】

【達成指標】 統計バンクの整備、ホームページへの掲載等

【実施状況】 統計バンクについて、ホームページへの掲載内容の検討に至らず、具体的進捗なし。次年度へ持ち越し。

(11) 外部研究機関等への研究事業協力

①『個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究』に協力

【評価：未達成】

【達成指標】 研究事業への協力 目標 3,000 件

【実施状況】 山形検診センター管内において、施設で行う7市町の間人ドック及び1市の特定健診で、胃がんX線検診を受診する50～69歳の方の中で研究事業に同意を得た方に胃リスク評価を実施。

最終実績は 1,131 件

②研究機関等への協力、データ提供

【評価：一部達成】

【達成指標】 データ提供等 6 団体以上

【実施状況】 行政や全国的な検診団体、学会に対する検診・検査のデータ提供。5 団体 8 件の提供。内容については以下のとおり。

提供先	提供データの内容
山形県	H29 がん検診成績及びがん検診実施状況調査 H29 胃及び大腸がん検診で発見された消化器がん患者調査
山形県医師会	H29 各種（消化器・呼吸器・乳がん）検診中央委員会における資料
日本対がん協会	H28・29 子宮頸がんワクチンの有効性に関する調査 H28 肺がん検診と乳がん検診に関する調査 H29 がん検診年次報告
日本乳がん検診学会	H27 乳癌検診の全国集計
日本消化器がん検診学会	H28 消化器がん検診実態調査

(12) 各種学会等における職員の研究発表

①アドバイザーボードの設置

【評価：未達成】

【達成指標】 アドバイザーボードの設置、発表内容等の指導

【実施状況】 内部アドバイザーボードの実施要綱の原案を検討したが、倫理委員会の設置が課題に上がり、具体的進捗なく次年度へ持ち越し。

②学会等での研究発表

【評価：達成】

【達成指標】 年間 5 題以上発表

【実施状況】 状況については以下のとおり。

施策 1 県民に対する健康情報等の提供と調査研究事業の推進

学会名	発表内容・発表者
第 8 回東北 LBC 研究会 (8 月 4 日)	「当施設における LBC(ThinPrep)導入の効果について」 山形 C 臨床検査技師(細胞検査士)
第 38 回東北地区集検放射線 技術部会 (1 月 25 日)	「胃がん検診における偶発症対策について」 南陽 C 放射線技師
日本総合健診医学会第 47 回 大会 (2 月 1・2 日)	「高血圧患者における血圧測定の現状」 山形 C 看護師
日本総合健診医学会第 47 回 大会 (2 月 1・2 日)	「検診における血圧測定法の現状～アンケート調査より～」 山形 C 看護師
日本総合健診医学会第 47 回 大会 (2 月 1・2 日)	「検診における血圧測定法の検討」 山形 C 看護師

施策 2 検診受診率と精密検査受診率の向上

<事業推進の基本的考え方>

- ・行政、企業等関係機関と連携し、検診受診率、精密検査受診率の向上のための取組みを強化します。
- ・特定保健指導の内容を充実し、利用者を拡大します。

(1) 渉外活動の推進

① 新規事業所訪問

【評価：未実施】

【達成指標】 200 社以上

【実施状況】 過去 3 年間の新規事業所訪問活動において、効果が希薄であると分析、評価。

基幹システムの更新作業や習熟訓練と重なり訪問活動が十分行えないと判断されたため、冬期間、閑散期等に可能な範囲で実施することに方針を変更。（実施効果のある協管けんぼの受診者勧奨事業を強化）

状況については以下のとおり。

所 属	訪問件数	所 属	訪問件数
山形 C	3 団体	米沢 C	2 団体
庄内 C	2 団体	南陽 C	1 団体
最上 C	1 団体	合 計	9 団体

(2) 検診未申込者への対策

① 市町村との連帯強化

【評価：一部達成】

【達成指標】 前年度検診実績を上回る

【実施状況】 未申込者対策に取り組んだ団体等については以下のとおり。

所 属	実施自治体数	未申込者対策による受診率
山形 C	2	5%
庄内 C	1	12%
最上 C	8	5%
米沢 C	自治体で実施	
南陽 C	自治体で実施	

② 協管けんぼの受診者勧奨事業等を活用した事業所訪問等

【評価：一部達成】

【達成指標】 前年度検診実績を上回る

【実施状況】 状況については以下のとおり。

所 属	勧奨団体数	獲得数	獲得率
山形 C	871 団体	38 団体	4%
庄内 C	725 団体	50 団体	7%
最上 C	272 団体	4 団体	2%
米沢 C	133 団体	27 団体	20%
南陽 C	263 団体	21 団体	8%
合 計	2,264 団体	140 団体	6%

(3) 検診申込者への受診勧奨

①事前連絡と未受診者への受診勧奨強化

【評価：未達成】

【達成指標】 受託自治体への実施、申込者受診率 100%

【実施状況】 状況については以下のとおり。

所 属	特定健診 未受診者対策		人間ドック 事前電話勧奨対策	
	実施自治体数	受診率	実施自治体数	受診率
山形C	7	18%	5	91%
庄内C	自治体で実施		3	94%
最上C	8	10%	8	80%
米沢C	自治体で実施		1	95%
南陽C	自治体で実施		3	87%

②小規模事業所の拾い上げ等

【評価：未達成】

【達成指標】 前年受診事業所 リポート率 100%

【実施状況】 状況については以下のとおり。

所 属	勧奨団体数	獲得数	リポート率
山形C	30 団体	26 団体	87%
庄内C	187 団体	93 団体	50%
最上C	20 団体	10 団体	50%
米沢C	0	－	－
南陽C	0	－	－

(4) 特定保健指導内容の充実

①指導内容の向上、3ヶ月特定保健指導拡大の検討

【評価：達成】

【達成指標】 方針の決定

【実施状況】 3ヶ月指導の独自プログラムを作成し実施。

状況については以下のとおり。

所 属	6ヶ月指導		3ヶ月指導	
	実施主体数	受診者数	実施主体数	受診者数
山形C	15 団体	1,257 名	2 団体	152 名
庄内C	11 団体	530 名	5 団体	109 名
最上C	9 団体	875 名	5 団体	40 名
米沢C	5 団体	162 名	4 団体	39 名
南陽C	9 団体	320 名	6 団体	94 名
合 計	49 団体	3,144 名	22 団体	434 名

(5) 精密検査受診率向上対策の展開

① 受診率向上対策の検討・実施

【評価：一部達成】

【達成指標】 精密検査受診率 90%以上

【実施状況】 状況については以下のとおり。

グレー部分は 90%以上 (単位：%)

	所属	平成 28 年度	平成 29 年度
胃がん検診	山形 C	83.9	85.8
	庄内 C	79.4	83.9
	最上 C	85.6	81.9
	米沢 C	76.8	79.0
	南陽 C	81.2	80.5
	全 体	81.8	83.0
大腸がん検診	山形 C	79.0	78.7
	庄内 C	73.9	75.1
	最上 C	79.4	75.3
	米沢 C	67.9	73.0
	南陽 C	75.1	73.1
	全 体	76.0	75.7
子宮頸がん 検診	山形 C	85.2	78.9
	庄内 C	77.4	71.6
	最上 C	84.3	84.5
	米沢 C	79.1	82.0
	南陽 C	74.1	92.8
	全 体	80.5	81.4
乳がん検診	山形 C	92.5	93.2
	庄内 C	92.5	94.5
	最上 C	94.1	93.0
	米沢 C	88.1	93.4
	南陽 C	93.1	92.6
	全 体	92.4	93.3
肺がん検診	山形 C	85.2	89.6
	庄内 C	82.8	90.1
	最上 C	91.2	88.2
	米沢 C	81.6	89.2
	南陽 C	88.5	89.9
	全 体	85.7	89.6

施策 3 満足度と質の高い検診サービス等の提供

<事業推進の基本的考え方>

- ・受診者ニーズを踏まえた質の高い多様な検診サービスメニューの充実、接遇の向上、検診結果通知の迅速化等、検診環境の改善に努めます。
- ・高度の検査機能を担っている病院と検診機関との役割分担を検討し、検診機関としての今後の検診機能の方向性を整理します。
- ・自治体、事業所等の健康支援を行い、県民の健康づくりを支援します。
- ・医療や就労など様々な悩みについて、いつでも身近なところで相談できるがん総合相談事業を充実します。
- ・がん相談事業の充実、がんピアサポーター養成を計画的に行い、患者や家族などと共に支えあう社会を作っていきます。

(1) オプション項目推奨マニュアルの見直し

① 利用しやすいマニュアルへ見直し

【評価：未着手】

【達成指標】 新たな検査項目を含めたオプション項目推奨マニュアルの作成、活用

【実施状況】 令和 2 年度より予定している新規項目（眼圧・血圧脈波等）のマニュアルの作成時に、現状のオプション項目推奨マニュアルの再作成を行う。

(2) 受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実

① 新たな検診項目、メニュー等の抽出、検討

【評価：達成】

【達成指標】 10 月まで項目決定、検診委員会審議、周知等

【実施状況】 新たな項目の導入について、11 月に開催した検診委員会で意見・助言をいただき、令和 2 年度から検診で実施することを決定し機構内に周知。

検査項目	開始予定年度
眼圧測定の導入	令和 2 年度
血圧脈波検査の導入	〃
乳房超音波検査の全センターでの展開	〃
骨粗鬆症検診（DXA法）の全センターでの展開	令和 4 年度
人間ドック推奨コース（人間ドック学会の基本項目）の新設	令和 2 年度

(3) 顧客満足度 90%以上に向けた取り組み

① スムースな健診への取り組み

【評価：一部達成】

【達成指標】 検診所要時間は 2 時間を目標 所要時間管理のための、調査、対策、見直しの実施

【実施状況】 検診所要時間の調査結果：2 時間未満 51.1%。

業務改善検討委員会を 4 回開催し、受付案内時間ごとの人数設定、案内業務マニュアルの作成等の見直しを実施。

② 接遇満足度日本一に向けた取り組み

【評価：未達成】

【達成指標】 接遇指導者養成研修、交流会等の実施、アンケートに基づいたハンドブックの作成

【実施状況】 施設検診受診者を対象にアンケートを実施し、11,074 名に対し 6,916 名(62.5%)の回答を得た。満足 2,938 名、やや満足 1,447 名、普通 2,119 名と普通以上は 94.0%であった。接遇指導者養成研修、交流会等の実施、アンケートに基づいたハンドブックの作成は未実施。

③検診結果通知の迅速化

【評価：一部達成】

【達成指標】 20 日以内の結果通知の確保、実情把握、調査、改善策決定

【実施状況】 平成 30 年 9 月末までの検診結果平均処理日数を調査し、管理者会議にて状況を報告。処理日数の短縮に努めた。

次年度からの新基幹システムの稼働に合わせ、結果帳票類の出力及び封入封緘作業を外部委託する体制を整備。結果送付までの期間短縮の仕組みを構築。

状況については以下のとおり。

所 属	H30 結果郵送状況 (繁忙期 4~10 月)	H29 結果郵送状況 (繁忙期 4~11 月)	比較増減 (H30-H29)
山形 C	平均 26 日	平均 27 日	△1
庄内 C	平均 35 日	平均 40 日	△5
最上 C	平均 31 日	平均 25 日	+6
米沢 C	平均 20 日	平均 20 日	0
南陽 C	平均 26 日	平均 25 日	+1

(4) 女性に優しい検診環境の整備

①女性スタッフのみによる検診日程の策定、PR の実施

【評価：一部達成】

【達成指標】 女性スタッフのみによる検診の通年実施

【実施状況】 以下について、医師以外は女性スタッフで実施。

時間外乳がん検診

年度	稼働日数		乳がん検診	乳工コー	子宮頸がん検診	人数
	(実施数)	(予定数)				
平成 30 年度	7 日	12 日	72 名	27 名	57 名	83 名
平成 29 年度	5 日	10 日	75 名	23 名	45 名	84 名
平成 28 年度	6 日	15 日	58 名	0 名(11月から開始)	—	58 名

(H31.3 月末)

女性の休日検診

所 属	子宮頸がん検診			乳がん検診		
	計画	実績	受診率	計画	実績	受診率
山形 C	36 名	33 名	91.7%	36 名	32 名	88.9%
庄内 C	58 名	52 名	89.7%	45 名	42 名	93.3%
最上 C	9 名	11 名	122.2%	25 名	24 名	96.0%
米沢 C	40 名	37 名	92.5%	40 名	38 名	95.0%
南陽 C	28 名	33 名	117.9%	37 名	43 名	116.2%
合 計	171 名	166 名	97.1%	183 名	179 名	97.8%

(H31.3 月末)

②女性医師の確保推進

【達成指標】 女性医師確保に向けた情報収集

【実施状況】 施策 7 (2) 再掲

(5) 病院との役割分担の整理

① C T 導入の方向性の決定

【評価：未達成】

胃内視鏡検査導入の方向性等の検討

【達成指標】 方針の決定

【実施状況】 11 月開催の呼吸器検診委員会で、北海道・東北地区の設置状況、受診者・自治体の需要調査結果、課題等を含め C T 導入について提案。導入を検討するうえで、読影の質の担保、読影（判定）の範囲、読影医師の要件等について、引き続き慎重に協議を重ねることが必要。

胃内視鏡検査導入については導入に向け素案を検討。

(6) がん総合相談支援センターの運営

①相談事業

【評価：達成】

積極的な PR 活動による認知度の向上

【達成指標】 市町村広報誌、チラシ等による年 2 回以上の広報

【実施状況】 ポスター 2,100 枚、チラシ 56,000 枚を作成し、医院、調剤薬局、山形・庄内検診センター施設受診者等に配布。

市町村広報紙 5 回、山新スイング 2 回、gatta1 回掲載

電話相談：山形検診センター 116 名、庄内検診センター 11 名

窓口相談：山形検診センター 41 名、庄内検診センター 6 名

②相談員のスキルアップ、養成等

【評価：達成】

【達成指標】 研修等参加、所長（医師）等による相談ケース評価（毎月 1 回以上）

【実施状況】 研修会等に 25 回参加。

所長（医師）等によるカンファレンスを、12 回（月 1 回）実施。

相談内容が広範囲に及ぶことから、様々な分野の研修会に参加し最新情報や専門的知識を習得した。また、月 1 回相談員間で情報交換を行いスキル維持に努めた。

毎月のカンファレンスでは、全相談内容について対応方法や他機関との連携、情報収集等について指導を受け改善を図った。

③アドバイザーボードによる指導

【評価：達成】

【達成指標】 年 1 回以上の開催（事業計画等）

【実施状況】 平成 31 年 3 月に実施。次年度事業計画等の報告及び指導を受けた。

④出張相談事業の展開

【評価：達成】

【達成指標】 出張相談及び専門相談 年 2 回以上の開催

【実施状況】 出張相談：100 名（やまがた健康フェア 2018、米沢市すこやか C、山形市役所・酒田市役所）

やまがた健康フェアでは拠点病院の相談員 6 名に協力いただき 70 名実施。健康に関するイベント内での相談会だったため高い関心を得た。

専門相談：置賜総合病院に薬剤性脱毛サポート美容師 1 名派遣（10 月）。

日本海総合病院に薬剤性脱毛サポート美容師 1 名、社労士 1 名派遣（11 月）

⑤専門部会の開催

【評価：達成】

【達成指標】 月 1 回開催

【実施状況】 専門相談会：19 名（6～3 月に月 1 回実施）

11～1 月はピアサポーターによるサロン形式の相談会実施。ピアサポーターの活動の場として、今後のサロン実践に反映。

⑥拠点病院等との連携

【評価：達成】

【達成指標】 協議会の参加、情報の定期的な交換等

【実施状況】 8 月協議会がん患者相談室部会に 3 名参加。

11 月地域相談支援フォーラム in 福島にて、行政・拠点病院・ピアサポーターの連携及び当センターの取り組み状況を発表。

⑦相談しやすい環境の整備

【評価：達成】

【達成指標】 アンケート調査実施 結果に基づいた利用しやすい環境の整備（受付時間の変更等）

【実施状況】 9 月のやまがた健康フェア 2018 において、来場者にアンケート調査を実施。（140 名回収）今回のアンケートは情報の入手経路の把握とセンター利用についての意識調査を目的に実施。結果、情報の入手経路については、新聞・ポスターチラシ、家族・知人、健診機関に分散していたことから、今後も多方面からの情報発信が必要。センター利用については、回答者の 8 割を超える方が「必要になったら利用してみたい」と回答しており、セミナーの継続による利用の意識付けを図ることとした。

⑧ピアサポート事業の推進

【評価：達成】

計画的な講座の開催

【達成指標】 年 1 回以上開催、養成講座、フォローアップ講座、セミナー等の開催

【実施状況】 養成講座：6 月開催、11 名参加。

フォローアップ講座：7 月開催、43 名参加。

サロン先進地視察：5～10 月に 5 回、延べ 20 名参加。

県立中央病院のサロン見学・体験：6～3 月に 8 回、延べ 37 名参加。

その他：9 月のやまがた健康フェア 2018 でセミナーを開催し、200 名参加。

交流会：3 月開催、28 名参加。

⑨ サロン開設主体等の方向性の検討

【評価：達成】

【達成指標】 サロン開設に向けた設置主体等の検討

【実施状況】 サロン開催の情報収集と内部で方向性を整理。

12月に外部の関係者によるがんサロン開設会議を開催。センター内や拠点病院等のがんサロンで、がんサロンを進められるピアサポーターを育成することで、ピアサポーターが自主的に行う「がんサロン」が地域に広がるよう支援することを目指すこととした。

⑩ 様々ながん情報の発信

【評価：達成】

ホームページの充実、ハンドブック等の作成

【達成指標】 ホームページのリンク先の充実、がん情報に係るニーズ調査の実施とハンドブックの作成

【実施状況】 ホームページを更新し、新たにリンク先3箇所を追加。

ハンドブック作成のため、協議会がん患者相談室部会員をメンバーとしたワーキンググループを立ち上げ、会議を3回開催。がん情報に係るニーズ調査を患者会・ピアサポーターとの意見交換会に替え、がん経験者の視点から出された意見を多く取り入れた。3月に1万部作成し、病院・医院・調剤薬局・患者会等に配付。また、当機構のホームページからデジタルブックで閲覧、ダウンロードできるように更新。

施策 4 検診の精度管理と事業評価

<事業推進の基本的考え方>

- ・がん検診については、事業評価のためのチェックリスト等による点検改善を行うとともに、プロセス指標に基づく評価を行い公表します。
- ・各種検診については、外部有識者による検診委員会の評価指導を受けて、精度向上を進めます
- ・医師会と連携し、チェックリストを踏まえた読影体制が整備できるよう検討、改善するとともに、機構独自の症例検討会を定期的に行い、質の高い読影を行います。
- ・人為的なミス、事故等を防止するための組織全体のリスクマネジメントを強化します。
- ・チェックリストに適合するための認定技師等の資格取得を計画的に進めるなど、専門技術職のスキルアップを推進し、精度向上を確保します。

(1) がん検診のチェックリストによる現状の把握、改善、公表

①チェックリストに基づいた点検と公表

【評価：達成】

【達成指標】 各検診センターにおける点検と公表

【実施状況】 検診センターごとチェックリストに基づいた点検及び集計終了（10月）。

11月に開催した検診委員会へ点検結果を報告し、不適合の改善に向け意見・助言等を受けた。

状況については以下のとおり。

	平成 30 年度	平成 29 年度
胃がん検診	B	B
大腸がん検診	A	B
肺がん検診	A	B
乳がん検診	B	B
子宮頸がん検診	A	A

※評価基準（県独自）

A	すべて満たしている
B	一部満たしていない（1～6項目満たしていない）
C	相当数満たしていない（7～12項目満たしていない）
D	大きく逸脱している（13項目以上満たしていない）

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
チェックリスト項目数	25※	21	38	23	29

※内視鏡にかかわる7項目を除く

(2) プロセス指標による精度管理

①各検診センターでのプロセス指標に基づく評価と公表

【評価：達成】

【達成指標】 精検受診率、陽性反応的中度等がん検診事業評価指標値での比較評価

【実施状況】 検診センターごとに平成 29 年度のプロセス指標の集計終了（10 月）。11 月開催の検診委員会に集計結果を報告し、改善に向け意見・助言等を受けた。

状況については以下のとおり。

（対象年齢：40 歳～74 歳 但し、子宮頸がん検診は 20 歳～74 歳）

※グレー部分は、許容値の範囲外のもの

平成 29 年度	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮頸がん検診
要精検率	7.4%	5.3%	2.2%	5.5%	1.0%
精検受診率	82.1%	73.9%	89.4%	93.2%	81.2%
がん発見率	0.08%	0.11%	0.03%	0.19%	0.11%
陽性反応適中率	1.02%	2.06%	1.33%	3.48%	11.08%

(3) 仕様書の添付による精度管理

① 住民検診に係る契約書に仕様書を加える

【評価：達成】

【達成指標】 仕様書に基づいたがん検診の実施

【実施状況】 契約書に仕様書を加え、市町村で実施するがん検診は仕様書に基づいて実施した。

(4) 外部有識者で構成する検診委員会等による精度管理

① 6 つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度管理評価、指導

【評価：達成】

【達成指標】 検診委員会（11 月までに開催）、協議会による精度管理

【実施状況】 検診委員会委員（任期 2 年）を 8 月に委嘱。

11 月に検診委員会を終了し、内容をとりまとめデスクネットに掲載し周知済み。協議会にもデータを提供。

内容については以下のとおり。

開催日	平成 30 年度の開催結果
11 月 21 日	<p>1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上 C のがん発見率が低い。専門技師の養成と読影医の構成双方の検討が必要。 ・要精検率は許容値内ではあるが、ピロリ感染を考慮した読影で下げる努力が必要。 <p>2 精度管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県からの通達を受け、便潜血反応強陽性者の至急受診勧奨条件について今年度自治体等と協議がなされた結果及び成績を報告。本結果及び成績を市町村等へ情報提供を行い、勧奨条件を県通知レベルで対応できるよう協力を仰いでいく。 ・事業所規模別に大腸がん検診精密検査受診状況を提示。精密検査受診率に大きな差はなく、産業医を有することと精密検査受診率に関係は見受けられなかった。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がんリスク評価実施成績を報告。

<p>呼吸器検診 委員会 11月15日</p>	<p>1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・統計上反映されないD判定からのがん発見があるため、がん発見率が低い傾向。</p> <p>2 精度管理 ・平成 30 年度にはすべての各地区医師会で開催を予定。</p> <p>3 その他 ・呼吸機能検査、肺機能検査の実施要綱を平成 30 年 12 月 1 日より適用を承認。</p>
<p>子宮がん検診 委員会 11月14日</p>	<p>1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・精検受診率に一般住民の地域差があることは問題とされ、個別の勧奨及び実施主体担当者 と連携した受診勧奨の検討が必要。 ・経年精検未受診者対策の検討が必要。</p> <p>2 精度管理 ・若年者受診率・初回受診率向上対策・状況を報告し、今後も継続して積極的受診勧奨等 を行うこととされた。 ・ワクチン接種状況及び細胞診・精密検査状況を報告し、ワクチン接種有無別の精検結果の 成績検証が必要とされた。 ・不適正標本等の対策（採取器具等）について、採取器具統一が困難であったことを報告し 了承された。</p> <p>3 その他 ・併用検診実施状況及び 1 年後再検者への対策を報告し、今後も状況把握を継続し、1 年 後再検者への受診勧奨を行う。 ・精検医療機関リストを報告し添付が了承された。 ・性交未経験者に対する問診方法及び検診実施の有無の確認と検討については、新規パンフ レットを作成し、子宮頸がんのリスク面から検診の実施の必要性なく、症状等があった場合のみ 医療機関への受診勧奨することを実施主体担当者へ説明する。</p>
<p>乳がん検診委 員会 11月30日</p>	<p>1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・がん発見率は、経年低率で推移していた最上の成績向上がみられたが、山形が低率であっ た。要精検率は最上が経年的に高い傾向。</p> <p>2 その他 ・視触診のみの検診は年々減少しているが今年度も一部のセンターで実施されている。機構とし て実施しない方針であることを管理者会議で確認していることを報告し了承された。 ・乳房超音波回報書の変更については了解を得た。</p>
<p>循環器等健 診・人間ドック 委員会 11月29日</p>	<p>1 過去 3 年分の健診実施評価 ・有所見率及び判定区分別に分析し報告したが、改善点の指摘は無かった。</p> <p>2 基幹システムの更新に伴う変更について ・基幹システム導入の概要について報告し、総合判定の自動化に伴う判定基準の設定及び尿 酸値・総コレステロールの基準値変更について了承を得た。</p> <p>3 人間ドック検査項目について ・Z T T の受託中止に伴いアミラーゼをセット項目とすること、令和 2 年度に向けての新規セット 項目及び眼圧測定、また、血圧脈波検査について理解を得たが、血管年齢は受診者の混乱を 招かぬよう、測定はテクニカルな問題があるため慎重な検討を求めるとされた。</p>

	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液データの至急連絡値について了承を得た。 ・血圧高値者への至急連絡及び受診勧奨方法について了承を得た。
<p>超音波検査 委員会 11月22日</p>	<p>1 過去 5 年の健診実施状況評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米沢検診センターの要精検率が高い状況の継続は、平成 29 年度は若干低下しているので、引き続き経過を見ていくことと、各検診センターで要精検率が相違することについては、判定基準の共通化が必要であり評価可能な資料が必要とされた。 <p>2 精度管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各検診センターで発見された症例を提示し検討結果を報告。また、各検診センターで判定医師との打合せ会に本資料を活用いただくこととした。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判定マニュアルと機構の判定基準の相違について検討し、脾臓の計測方法及び判定区分を周知する必要があるとされた。 ・今後の従事者養成及び超音波検査士取得についての計画、併せてその中から乳房超音波従事者養成の必要性についても了承を得た。

(5) 読影体制の強化

① チェックリストを踏まえた読影医の体制整備

【評価：達成】

【達成指標】 改善策検討、決定、実行

【実施状況】 各検診センターの状況調査。各検診委員会（11月開催）へ点検結果を報告。不適合の改善に向け意見・助言等を受けた。乳がんの読影医師については、認定を取得いただくよう医師会、各医師へ依頼。また、新たに読影医師の増員を図った。

読影医師（胃がん検診）	4名増員
“（呼吸器検診）	3名増員
“（マンモグラフィ）	4名増員（内3名認定医師）

② 症例検討会の定期開催

【評価：一部達成】

【達成指標】 各検診センター（胃・乳・肺）年1回以上、山形検診センター（子宮）年6回以上

【実施状況】 開催回数については以下のとおり。 （開催数/開催予定数）

所属	胃部	肺 (呼吸器)	乳 (マンモグラフィ)	子宮 (細胞診)	腹部超音波
山形C	4/3	4/4	1/1	2/6	—
庄内C	1/2	0/1	1/1	—	—
最上C	2/2	2/2	1/2	—	1/1
米沢C	2/3	1/1	1/1	—	1/1
南陽C	2/2	1/1	2/2	—	—
合計	11/12	8/9	6/7	2/6	2/2

(6) 専門技術職のスキルアップ

① 専門技術職の資格等の計画的取得促進

【評価：達成】

【達成指標】 養成計画決定、実行

【実施状況】 日本消化器がん検診学会の胃がん検診専門技師を取得するため、学会に全放射線技師が入会。併せて、専門技師資格取得のための試験を受験し 2 名が合格。（基準により令和元年度からの認定）

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の A 又は B 評価取得について、2 名の養成を進め、内 1 名が資格取得。

乳がん検診超音波検査 B 評価以上の取得及び超音波検査士（認定）については、平成 30 年度各 1 名認定取得。

専門・認定技師の取得状況を整理し、養成計画を再編（3 月）。

計画については以下のとおり。

	職員 技師数	資格 取得者数	養成計画（今後資格取得予定数）			
			R1	R2	R3	R4
胃がん検診専門技師	27 名	11 名	1 名	8 名	7 名	－
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 A 又は B 評価	11 名	10 名	1 名	－	－	－
乳がん検診超音波検査 B 評価以上	8 名	6 名	1 名	1 名	－	－
超音波検査士(認定)	20 名	15 名	－	1 名	2 名	2 名

(7) 外部機関による精度管理

① 日本臨床検査技師会他 5 箇所からの外部評価

【評価：未達成】

【達成指標】 最上位の評価獲得

【実施状況】 外部機関による精度管理評価参加。

1. 日本臨床検査技師会精度管理（6 月：全検診センターとも評価結果 100%）

2. 日本医師会精度管理：

100 点：最上検診センター

99.6 点：山形・庄内・米沢・南陽検診センター

3. 結核予防会胸部画像評価

A 評価：庄内・米沢検診センター

B 評価：山形・最上・南陽検診センター

4. 日本臨床細胞学会コントロール・ハイ

設問 68 題中 39 問正解

5. 山臨技コントロール・ハイ

100%：山形・最上・南陽検診センター

98.0%：庄内・米沢検診センター

所 属	1.日臨技	2.日本医師会	3.結核胸部	5.山臨技
山形C	100	99.6	B	100
庄内C	100	99.6	A	98.0
最上C	100	100	B	100
米沢C	100	99.6	A	98.0
南陽C	100	99.6	B	100

(8) リスクマネジメント体制強化

①本部、支部会議の定期的開催、改善策の現場周知徹底、報告・対策・完了報告の徹底

【評価：未達成】

【達成指標】 前年度報告件数からの半減 260 件⇒130 件

【実施状況】 リスクマネジメント（本部）会議の開催が7月の1回のみとなり、定期的開催が停滞。
事故等報告件数については以下のとおり。

所属	レベル1	レベル2以上	H30	H29
山形C	56 件	34 件	90 件	104 件
庄内C	18 件	15 件	33 件	38 件
最上C	13 件	11 件	24 件	44 件
米沢C	15 件	8 件	23 件	50 件
南陽C	37 件	11 件	48 件	37 件
合計	139 件	79 件	218 件	273 件

施策5 ICTの積極的な活用と計画的な検診機器等の整備更新等

<事業推進の基本的考え方>

- ・ICTの積極的な活用を行い、地域医療との連携と事務の効率化を図るとともに、ニーズを踏まえた新しい検査技術の導入を進めます。
- ・個人情報を取り扱う事業者として、内部研修、内部監査を強化し厳格な保護管理を行います。
- ・検診車の集約化、DR検診車の整備のための計画を策定、実施します。
- ・検診機器等については、長期使用を基本に、検診機器等の整備更新を計画的に行います。

(1) 医療情報ネットワークへの参加、利用拡大

①利用者拡大対策の決定、実行

【評価：達成】

【達成指標】 利用拡大対策の実行、庄内地区以外における医療情報ネットワークの情報の収集

【実施状況】 ちようかいネットには、新規に90名加入登録し、延べ1,835件を公開。

村山地域医療情報ネットワーク協議会にオブザーバーとして出席（全4回）。

(2) パッケージソフトによる基幹システムの更新

①基幹システム更新の確実な工程管理

【評価：達成】

【達成指標】 平成31年4月本稼働

【実施状況】 新基幹システムの導入スケジュールに基づき、4月から本稼働。

(3) 情報セキュリティ対策の強化と情報の公開

①内部監査による実行確認

【評価：未達成】

【達成指標】 内部監査項目中、改善指摘項目ゼロ

【実施状況】 無許可USB使用ゼロ宣言通知、持ち込み禁止通知等を再通知したものの、庄内検診センターにて1件、米沢検診センターにて1件、南陽検診センターにて2件、計4件の無許可USB使用発生。

個人情報保護に係る内部監査は、山形検診センターを除く4検診センターは8/27(月)、31(金)に実施のうえ、改善を指摘済。山形検診センターの監査が必要。

②Pマーク取得の検討、準じた対策の検討

【評価：未達成】

【達成指標】 対策方針の決定

【実施状況】 プライバシーマークセミナー2017(制度概要編)を受講後、個人情報保護マネジメントシステム(PMS)の構築が必要であることや、初期及び更新費用が高額であることなどの数多くの課題について整理等まで至らず。

(4) X線機器の完全デジタル化への移行

① 検診車 DR 化

【評価：達成】

【達成指標】 DR 検診車更新、アナログ検診車撤廃の検討

【実施状況】 検診車の更新計画を策定し、アナログの呼吸器検診車及び胃がん検診車を DR 検診車に更新するための費用を次年度予算へ計上。

(5) 固定資産等の計画的な取得、更新

① 原則、検診機器等については長期使用

【評価：一部達成】

【達成指標】 必要に応じた更新整備

【実施状況】 超音波診断装置、心電計等高額な医療装置の更新について、故障の際の部品供給等を考慮し順次更新なるよう整備計画を策定。

(6) 検診車の効率的な配置

① 検診車の集約化

【評価：達成】

【達成指標】 計画策定

【実施状況】 検診車と施設 X 線装置の有効的な稼働を検討し、アナログ検診車を 1 台減車し、さらに更新を視野に入れ効率的な配置を実施。

平成 30 年度の車両配置は下記のとおり。

(単位：台)

所 属	胃がん 検診車	胃部・呼吸器 DR 併用検診車	呼吸器 検診車	呼吸器 DR 検診車	子宮頸がん 検診車	循環器 検診車	循環器・超音波 併用検診車	計
山形 C	1	3	1	1	1		1	8
庄内 C		2				1	1	4
最上 C		1						1
米沢 C								
南陽 C		2						2
合 計	1	8	1	1	1	1	2	15

(H31.3 月末)

施策 6 持続可能な事業運営の確保

<事業推進の基本的考え方>

- ・持続的・安定的な事業運営を確保するため、事業収入の安定的な確保を図ります。
- ・コスト意識の組織内浸透を図るとともに、あらゆる経費の見直しを行い、費用の抑制を計画的に行います。
- ・毎年度の正味財産増減計算書における経常収支の黒字を確保します。
- ・5つの検診センターの集約化、最上検診センターの整備計画素案を策定します。
- ・検診センター再整備、高額な検診機器等の更新等、将来の設備投資に備えた資金積立を計画的に行います。
- ・平成 31 年度からの新たな中期運営計画を策定します。

(1) 全組織横断的な事業収入確保に向けたプロジェクトチーム設置

①プロジェクトチームの設置と統一した事業展開

【評価：達成】

【達成指標】 プロジェクトチームの設置と事業方針の決定（隔月会議の開始）

【実施状況】 検診事業収入対策検討委員会及び検診事業収入対策ワーキンググループを設置。

事業方針及び具体的取組事項を定め隔月会議を開催。

オプション項目のセット化、新規項目の事業化、人間ドックの推進に向けた取り組みについて事業化を推進。

②受診者数等の数値目標の設定

【評価：未達成】

【達成指標】 検診センター毎に月毎、項目毎の目標を設定、進捗管理

【実施状況】 検診センター毎、目標収入額に対して地域の特性を活かした対策を策定、月毎進捗状況の管理を行ってきたが、結果的に目標額を下回る。

各検診センターの目標額との比較については以下のとおり。

単位：千円（受託料含まず）

所 属	平成 30 年度予算	今年度目標額	平成 30 年度決算	目標との比較
山形 C	1,045,793	1,054,969	1,027,919	△27,050
庄内 C	807,516	813,824	790,240	△23,584
最上 C	454,885	457,965	453,187	△4,778
米沢 C	359,571	367,482	358,476	△9,006
南陽 C	504,336	508,681	506,124	△2,557
合 計	3,172,101	3,202,921	3,135,946	△66,975

(2) 安定的な収支運営確保

①毎事業年度の経常収支の黒字の確保

【評価：達成】

【達成指標】 前年度を上回る黒字の確保

【実施状況】 検診事業収入の確保及び支出の抑制に努め、前年度経常収支プラス 1 億 3000 万円に対し、今年度同プラス 2 億 2100 万円を確保。

②資金積立を前年事業年度決算の減価償却以上の積立

【評価：達成】

【達成指標】 2 億円以上

【実施状況】 資金積立については、土地減価償却整備資金に約 2 億 4 900 万円、最上検診センター建設準備資金に約 7000 万円の積立。

③予算編成手法の検討、実施

【評価：未達成】

【達成指標】 予算要求シーリング等の要求手法の検討

【実施状況】 手法の情報収集に留まり検討に至らず、具体的進捗なし。次年度へ持ち越し。

(3) 業務の外部委託の推進

①外部委託業務の選定

【評価：達成】

【達成指標】 外部委託検討委員会による効果的な外部委託業務の検討

【実施状況】 検討委員会による検討は未実施であるが、新基幹システムの構築が進展する中で、結果処理、封入作業の確実性向上、人件費削減等効果が期待される検診結果封入の外部委託を推進。次年度から実施。

(4) 最上検診センター改築整備計画の策定、検診センターの集約化等の検討案策定

①5 つの検診センターの集約化等の検討案策定

【評価：未着手】

【達成指標】 計画素案の策定

【実施状況】 計画策定に至らず、具体的進捗なし。次年度へ持ち越し。

②最上検診センター改築整備計画素案の策定

【評価：達成】

【達成指標】 計画素案の策定、理事会報告

【実施状況】 検討委員会を 2 回開催。最上検診センターを取り巻く環境、現況、課題を分析し基本構想(案)を策定し、理事会に報告。

(5) 中期運営計画の推進

①第 1 次中期運営計画の推進

【評価：一部達成】

【達成指標】 各施策の達成 (H28 達成、概ね達成 73%)

【実施状況】 達成が 42%、一部達成を含めると 64%だったが、達成指標には至らなかった。また、未着手が 8%あり、新基幹システムの導入などから実施に至らなかった計画があった。より効果的な計画になるよう精査し、次年度も継続的に実施する。

②次期中期運営計画策定

【評価：未着手】

【達成指標】 H31 からの次期中期運営計画策定 (外部有識者審議開催等、12 月理事会報告)

【実施状況】 前年度まで及び本年度の実施状況から、次年度においては現中期運営計画を継続して取り組むことが効果的との判断から、次期中期運営計画策定については令和 2 年度からの実施に向けて次年度に計画を策定する。

(参考資料)

各 種 検 診 ・ 受 託

検診・検査項目		平成30年度		増減	山形検診センター		
		計画	実績		計画	実績	
特定健康診査		54,975	54,867	△ 108	18,935	18,531	
特定保健指導		3,337	3,578	241	1,320	1,409	
胃がん検診		45,840	44,418	△ 1,422	16,985	16,849	
	(単+ド+全)	98,140	94,681	△ 3,459	30,650	30,153	
大腸がん検診		65,955	65,987	32	23,530	23,792	
	(単+ド+全)	131,260	130,524	△ 736	41,495	41,349	
子宮頸がん検診	細胞診	18,025	18,138	113	4,875	4,821	
	HPV併用	1,145	1,032	△ 113	310	258	
	(単+ド+全)	38,320	37,580	△ 740	11,960	11,495	
乳がん検診	マンモ単	10,845	11,712	867	2,780	2,986	
	(単+ド+全)	24,915	25,993	1,078	8,420	8,473	
	併用	7,400	6,251	△ 1,149	1,525	1,109	
	(単+ド)	12,025	10,115	△ 1,910	3,080	2,395	
	視・触診	105	81	△ 24	10	6	
	(単+ド)	105	81	△ 24	10	6	
	乳房超音波	500	635	135	305	560	
	個別(X線)	30	20	△ 10			
呼吸器検診	肺がん検診	X線	55,905	55,795	△ 110	19,915	19,910
		(単+ド)	90,170	88,691	△ 1,479	32,005	31,535
		喀痰	2,385	2,067	△ 318	1,215	963
		(単+ド)	3,260	2,871	△ 389	1,560	1,285
	結核検診	X線	24,780	23,973	△ 807	14,300	13,899
		(単+定+ド+全)	111,715	108,914	△ 2,801	41,340	39,228
人間ドック		36,115	34,616	△ 1,499	12,710	12,169	
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診		33,150	33,396	246	6,710	6,430	
腹部超音波検査		34,900	34,620	△ 280	11,660	11,700	
	(単+全)	35,860	35,702	△ 158	11,890	11,942	
一般検査	定健	A健診	53,810	54,831	1,021	19,790	19,320
		B健診	15,600	13,496	△ 2,104	7,525	6,922
	その他(延べ件)		556,793	519,842	△ 36,951	219,578	202,336
学校検診(延べ件)		47,305	47,719	414	4,890	4,814	
細胞診検査(件)		5,700	5,389	△ 311	5,700	5,389	
前立腺がん検診		23,095	22,560	△ 535	6,990	6,913	
骨密度測定	US	16,090	15,814	△ 276	1,430	1,185	
	DXA	2,515	2,620	105	2,515	2,620	
肝炎ウイルス検診		3,570	3,827	257	530	825	
受付問診等	人	4,223	4,280	57	2,508	2,596	
料金徴収	件	27,066	26,586	△ 480	7,587	7,314	
結果送付	件	84,214	87,036	2,822	35,470	35,329	

(注1) 単=単独検診 定=定期健康診断 ド=人間ドック
全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

事務の実績人員 (単位：人)

庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
15,960	15,627	5,560	5,787	4,510	4,776	10,010	10,146
480	639	895	915	315	201	327	414
11,450	10,801	3,610	3,580	5,740	5,400	8,055	7,788
25,300	23,716	13,550	13,120	11,725	11,265	16,915	16,427
17,070	16,674	5,855	6,126	7,580	7,565	11,920	11,830
34,550	33,739	18,020	18,170	14,560	14,761	22,635	22,505
4,430	4,323	1,845	1,917	2,670	2,621	4,205	4,456
5	30	800	716			30	28
9,165	8,927	5,605	5,493	4,580	4,426	7,010	7,239
1,490	1,592	2,505	2,754	2,730	2,614	1,340	1,766
3,820	4,046	6,105	6,273	3,940	3,994	2,630	3,207
2,030	1,802	445	98	40	39	3,360	3,203
3,155	2,750	535	120	315	238	4,940	4,612
70	74	25			1		
70	74	25			1		
100	60	95	15				
5	2					25	18
15,545	15,273	7,075	7,212	3,980	3,962	9,390	9,438
24,140	23,582	14,250	13,993	5,830	5,765	13,945	13,816
280	249	250	273	230	231	410	351
340	305	625	600	255	245	480	436
3,990	3,705	1,445	1,510	2,835	2,770	2,210	2,089
25,880	24,762	12,215	12,464	16,720	16,777	15,560	15,683
9,085	8,774	7,500	7,087	2,095	2,046	4,725	4,540
9,300	9,163	5,245	5,489	5,350	5,604	6,545	6,710
7,510	7,241	6,410	6,367	4,060	3,880	5,260	5,432
7,740	7,508	6,585	6,608	4,220	4,019	5,425	5,625
12,940	14,003	5,640	5,762	8,280	8,380	7,160	7,366
3,360	2,472	940	962	2,660	2,273	1,115	867
123,800	115,680	58,300	55,868	86,000	82,105	69,115	63,853
18,660	18,218	6,360	6,389	14,260	15,041	3,135	3,257
8,320	8,077	2,875	2,713	1,590	1,563	3,320	3,294
6,950	6,776	2,600	2,685	1,800	1,800	3,310	3,368
855	768	830	890	230	151	1,125	1,193
918	891	252	262	55	49	490	482
9,030	8,754	3,519	3,577			6,930	6,941
25,700	26,903	12,401	12,545	1,200	1,152	9,443	11,107

(参考資料)

各 種 検 診 事 業

検診・検査項目	平成30年度		増減	山形検診センター	
	計画	実績		計画	実績
特 定 健 康 診 査	381,620	397,608	15,988	127,341	134,870
特 定 保 健 指 導	36,318	43,932	7,614	14,888	17,468
胃 が ん 検 診	217,850	207,841	△ 10,009	82,722	78,768
大 腸 が ん 検 診	105,424	105,249	△ 175	37,544	37,883
子 宮 頸 が ん 検 診	79,735	79,776	41	21,290	21,090
乳 が ん 検 診	78,605	73,960	△ 4,645	19,995	17,447
呼 吸 器 検 診	89,007	87,537	△ 1,470	36,007	35,078
人 間 ド ッ ク	753,421	713,218	△ 40,203	277,003	257,884
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診	522,647	533,082	10,435	94,080	102,436
腹 部 超 音 波 検 査	139,740	138,492	△ 1,248	46,780	46,800
一 般 検 査	655,294	638,875	△ 16,419	255,207	237,434
学 校 検 診	26,960	26,308	△ 652	3,378	3,003
細 胞 診 検 査	6,810	6,035	△ 775	6,810	6,035
前 立 腺 が ん 検 診	51,029	49,640	△ 1,389	15,598	15,219
骨 密 度 測 定	17,922	17,896	△ 26	6,178	6,194
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	10,455	11,007	552	1,708	2,370
受 託 料 収 入	61,055	60,893	△ 162	37,515	37,231
合 計	3,233,892	3,191,349	△ 42,543	1,084,044	1,057,210

(注1) 千円未満切り捨て（各検診センターの切り捨て分は山形検診センターで調整）

の 収 入 実 績 (単位：千円)

庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
112,546	112,181	39,404	42,356	31,828	34,976	70,501	73,225
5,439	7,431	9,182	11,257	2,735	2,372	4,074	5,404
54,111	50,886	16,949	16,862	26,913	25,310	37,155	36,015
27,312	26,595	9,368	9,765	12,128	12,086	19,072	18,920
17,755	17,502	12,980	12,680	10,680	10,484	17,030	18,020
16,630	15,642	10,918	9,671	8,975	8,552	22,087	22,648
21,639	21,060	9,889	10,218	7,542	7,563	13,930	13,618
179,353	171,930	153,321	144,780	43,568	42,452	100,176	96,172
149,502	144,940	84,073	86,762	90,378	92,096	104,614	106,848
30,040	28,972	25,640	25,472	16,240	15,520	21,040	21,728
157,638	159,124	67,685	68,291	96,476	95,521	78,288	78,505
9,215	8,824	4,672	4,611	6,511	6,589	3,184	3,281
18,304	17,769	6,325	5,968	3,498	3,438	7,304	7,246
5,560	5,420	2,080	2,148	1,456	1,440	2,648	2,694
2,472	2,216	2,399	2,572	643	421	3,233	3,428
9,730	10,217	4,367	4,292	2,806	2,335	6,637	6,818
817,246	800,709	459,252	457,705	362,377	361,155	510,973	514,570

施策 7 人材育成と働き方改革

<事業推進の基本的考え方>

- ・簡素で効率的な組織の見直しと業務量に応じた適切な人員配置を行います。
- ・婦人科医師の確保を早急に行うとともに、医師採用規程に基づき計画的な医師の採用及び退職管理を行います。
- ・技術職の認定資格等の取得を計画的に進めます。
- ・職員の意識改革を進めるとともに、次世代を担う中堅、若手職員の育成を図ります。
- ・職員考課制度における給与等へ評価拡大を進めます。
- ・同一労働同一賃金に対する対策を検討するとともに、非正規職員の処遇の改善、雇用の在り方等について検討を進めます。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを強化し、働き方改革を推進します。

(1) 組織の見直しと業務量に応じた人員配置

① 業務量に応じた適切な人員配置

【評価：達成】

【達成指標】 10月までのヒアリング、1月早期の事務処理体制検討

【実施状況】 職員調書のヒアリングを12月までに実施。

2019年度からの組織を見直し、山形検診センターに事業推進課、企画財務課を新設し、データ処理係と検診業務係を、健康支援係と看護係を、臨床検査係と細胞検査係を統合。また、新たに参事職、主幹職を設け、適切な人員配置を実施。

(2) 計画的な医師の採用等

① 産婦人科医師の確保、計画的な医師の採用

【評価：達成】

【達成指標】 医師採用等に関する要綱に基づく採用計画の策定

【実施状況】 5月から日々雇用として婦人科医師1名、内科医師2名の医師から協力を得た。

次年度の医局体制は、医師採用等に関する要綱に基づき、方向性を決定。

(3) 人材の育成

① 人材育成計画の策定

【評価：未達成】

【達成指標】 5年間を目安とした研修計画の策定

【実施状況】 外部委託派遣研修（学会等含む）は、年49箇所 延べ101名を派遣。

専門職については、従事者養成、資格認定更新を主として派遣。

事務職の研修計画は、職階級別研修内容、研修機関、必要経費等の検討に至らず。

② 中堅、若手職員のための研修等の検討、実施

【評価：未着手】

【達成指標】 類似検診機関等への派遣研修等の実施計画策定

【実施状況】 新基幹システム導入の対応、働き方改革関連法への対応に追われ、類似検診機関等への派遣職員選定、時期、内容の検討に至らず。

③自発的な勉強会への支援

【評価：未着手】

【達成指標】 アフタヌーン勉強会の定期開催、若手職員勉強会の企画、実施

【実施状況】 前年度実施のアフタヌーン勉強会の開催後の課題整理、若手職員勉強会の企画・目的の検討に至らず。

(4) 職員考課制度

①職員考課制度の定着と信頼性を高める取組み推進

【評価：未達成】

【達成指標】 職員考課制度研修及び考課者トレーニング研修の実施、運用拡大検討

【実施状況】 給与・就業・人事管理システム更新に合わせ、職員考課システム導入を検討するものの、実情にそぐわず導入を見送り。研修については、新基幹システム導入研修日程等との調整が進まず、企画・検討に至らず。

(5) 公益法人として適切な給与制度の検討、見直し

①給与制度の見直し、検討

【評価：未着手】

【達成指標】 類似機関調査分析、わたり運用の見直し検討

【実施状況】 県内類似検診機関の給与、賞与、退職金等の調査後の課題整理等、また給料表のわたり運用の見直し、検討までに至らず。見直し検討は、次年度に繰り越し。

②職員考課制度の給与への反映検討（施策 7-(4)再掲）

(6) 働きやすさと働きがいのある職場づくり

①働きやすく、働きがいのある職場づくりに向けた取組み

【評価：未達成】

【達成指標】 職員 E S 調査、取組み方針取りまとめ、実施

【実施状況】 「ワーク・ライフ・バランスの推進」に関する基本方針について、周知。

職員 E S 調査については、質問内容等の検討に至らず。

11/7 開催の結核予防会東北・北海道地区ブロック会議の中で情報収集。

6 支部中実施を検討しているのは 1 支部（岩手）のみで、コンサルタント会社等へ情報収集予定とのこと。結果の分析を考えると外注せざるを得ないが、経費（30 万円～50 万円）が高額のため実情にそぐわず導入を見送り。

②同一労働同一賃金、非正規職員の処遇改善、在り方の検討

【評価：一部達成】

【達成指標】 在り方検討会開催、対策案の取りまとめ

【実施状況】 働き方改革関連法に関するセミナー、研修会に参加。同一賃金に関する件として、2019 年度から日々雇用職員への通勤費支給を決定し、規定化した。

③仕事の効率化の検討

【評価：未達成】

【達成指標】 業務改善に取り組む職場風土づくり対策検討、実施

【実施状況】 業務改善すべき事項拾い上げ、取り組み方法等の検討に至らず。

④環境にやさしい事業活動の取組み

【評価：未達成】

【達成指標】 実行計画数値目標値等の点検・見直し実行

【実施状況】 昨年度の電気、水道、燃料、コピー用紙の前年度及び目標値との比較、課題整理に至らず、具体的進捗なし。

電気使用量 前年度比 60,989Kwh の減

水の使用量 前年度比 56 l の減

施策 8 ガバナンスを強化した法人運営

<事業推進の基本的考え方>

- ・ガバナンスとコンプライアンスのとれた法人運営を行います。
- ・公益法人としての役員の役割と責任を明確にし、適切な業務執行を確保します。
- ・法人情報を積極的に公開し、法令を遵守した業務運営を行います。

(1) 代表理事、業務執行理事の業務執行状況の理事会報告

① 代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の逐次報告

【評価：達成】

【達成指標】 理事会報告、ホームページ公開等検討

【実施状況】 通常理事会において、業務執行理事より業務執行状況を報告。
理事会における報告のみとした。

(2) 臨時理事会等の積極的な開催

① 役員に対する法人情報の逐次報告

【評価：達成】

【達成指標】 臨時理事会の開催

【実施状況】 臨時理事会(決議省略)を6回開催。

(3) 法人情報の積極的な公開

① 財務諸表、事業報告、役職員給与等の公表、労働組合との交渉概要の報告等

【評価：達成】

【達成指標】 ホームページ公開等

【実施状況】 財務諸表、事業報告、役職員給与等の公表、労働組合との交渉概要の報告については、
理事会にて報告。
財務諸表、事業報告はホームページにて公開。

(4) 公益法人として適切な報酬、透明性のある決定方法等

① 役職員の報酬、給与等の評議員会報告、外部公表の検討

【評価：一部達成】

【達成指標】 情報の公開による法人運営の透明化を図る。

【実施状況】 6月26日 第2回 定時評議員会時、役職員の報酬、給与等の状況を新たな様式により詳細に報告。
外部公表については、適用範囲基準の検討に至らず。

(5) 重大トラブル、不祥事が発生した場合の外部公表等

① 外部公表基準の策定、基準のホームページ公開等

【評価：未達成】

【達成指標】 内部通報制度の点検及び職員への周知等

【実施状況】 外部公表基準の策定、基準のホームページ公開等の検討に至らず。

3 法人運営等

1 評議員会

開催日	会議名	議題事項
平成 30 年 4 月 27 日	第 1 回 (臨時) 評議員会	「評議員の辞任に伴う後任者の選任」の件 評議員全員の書面同意決議
平成 30 年 6 月 26 日	第 2 回 (定時) 評議員会	「平成 29 年度事業報告」報告の件 「平成 29 年度貸借対照表・正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「理事の任期満了及び辞任に伴う選任」の件 「監事の任期満了に伴う選任」の件 「役職員の報酬及び給料等の状況」報告の件 出席評議員 5 名 出席理事 6 名 出席監事 1 名
平成 31 年 3 月 26 日	第 3 回 (臨時) 評議員会	「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 評議員全員の書面同意決議

2 理事会

開催日	会議名	議題事項
平成 30 年 4 月 1 日	第 1 回 (臨時) 理事会	「専務理事互選」承認の件 「専務理事報酬の決定」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 30 年 4 月 25 日	第 2 回 (臨時) 理事会	「外注検査委託業者（株式会社 S R L）の過失トラブルに対する和解に係る覚書の締結について」承認の件 「平成 30 年度第 1 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 30 年 6 月 6 日	第 3 回 (通常) 理事会	「平成 29 年度事業報告及び附属明細書」承認の件 「平成 29 年度決算財務諸表及び財産目録」承認の件 「平成 29 年度資金収支計算書」承認の件 「平成 29 年度収支相償等の計算書類」報告の件 「平成 29 年度理事の取引」報告の件 「理事の辞任」報告の件 「理事長の報酬額」承認の件 「定時評議員会の招集及び提出議案」承認の件 「嘱託職員身分規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 10 名 出席監事 2 名
平成 30 年 6 月 26 日	第 4 回 (臨時) 理事会	「理事長（代表理事）の互選」の件 「副理事長の互選」の件 「専務理事（業務執行理事）の互選」の件 「顧問の就任」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 30 年 10 月 22 日	第 5 回 (臨時) 理事会	「時間外労働及び休日労働に関する協定書（一部変更）」承認の件 「給与規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 30 年 12 月 11 日	第 6 回 (臨時) 理事会	「平成 30 年度事業実施状況」報告の件 「平成 30 年度資金収支中間決算見込」報告の件 「平成 30 年度資金収支補正予算」承認の件 「平成 31 年度検診・検査料金」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 10 名 出席監事 1 名

平成 31 年 1 月 31 日	第 7 回 (臨時) 理事会	「一般社団法人山形県医師会との読影・判定業務に関する委託契約内容の一部変更に伴う契約締結」承認の件 利害関係のある理事 1 名を除く理事全員の書面同意決議
平成 31 年 2 月 28 日	第 8 回 (臨時) 理事会	「平成 30 年度資金収支補正予算」承認の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定書（一部変更）」承認の件 「退職金支給規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 31 年 3 月 12 日	第 9 回 (通常) 理事会	「平成 30 年度資金収支補正予算」承認の件 「会計処理規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「2019 年度（平成 31 年度）事業実施計画」承認の件 「2019 年度（平成 31 年度）収支予算」承認の件 「2019 年度（平成 31 年度）資金収支予算」承認の件 「昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性を対象に実施する風しんの抗体検査に係る料金の設定」承認の件 「組織規程の一部を改正する規程の制定」報告の件 「給与規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「第 3 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 「検診センター所長の委嘱等に関する規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「2019 年度（平成 31 年度）理事の取引」承認の件 「平成 30 年度やまがた健康推進機構労働組合との話し合いの経過」報告の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定の締結」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 10 名 出席監事 2 名

3 役員等に関する事項（平成 31 年 3 月 31 日現在）

評議員 7 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評 議 員	岩田 雅史	H30. 4. 27	2020 年開催の定時評議員会 終結の時まで	
	貝沼 浩則	H29. 6. 23		
	神村 裕子	H28. 6. 29		
	今田 裕幸	H28. 6. 29		
	中條 明夫	H28. 6. 29		
	細矢 貴亮	H29. 6. 23		
	松田 一彦	H28. 6. 29		

五十音順

理事 10 名・監事 2 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理 事 長	中目 千之	H30. 6. 26	2020 年開催の定時評議員会 終結の時まで	代表理事
副理事長	菊地 惇	H30. 6. 26		
専務理事	渡邊 一夫	H30. 6. 26		業務執行理事
理 事	粕川 俊彦	H30. 6. 26		
	小林 正義	H30. 6. 26		
	後藤 敏和	H30. 6. 26		
	佐藤 顕	H30. 6. 26		
	佐藤 徳彦	H30. 6. 26		
	三條 典男	H30. 6. 26		
監 事	深尾 彰	H30. 6. 26		
	奥山 享	H30. 6. 26		
	粕谷 真生	H30. 6. 26		

顧問 2 名

役名	氏名	委任年月日	備考
顧問	有海 躬行	H26. 6. 27	
	徳永 正靱	H30. 6. 26	

平成 30 年度内に退任された評議員

退任時の役名	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
評議員	国井 富彦	H28. 6. 29	H31. 2. 28	

4 職員に関する事項 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

各検診センター所長及び副所長

所 属	職 名	氏 名	職 名	氏 名
山形検診センター	所 長	後藤 敏和	副所長	佐藤 徳彦
庄内検診センター	所 長	佐藤 顕	副所長	高橋 清一
最上検診センター	所 長	三條 典男	副所長	上野 俊幸
米沢検診センター	所 長	小林 正義	副所長	荒井 信行
南陽検診センター	所 長	粕川 俊彦	副所長	石山 和敏

5 職種別職員数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

職 種	事務業務	医師	診療放射線技師	保健師	看護師	臨床検査技師	管理栄養士	細胞検査士	合 計
正規職員	72 人	—	26 人	10 人	34 人	29 人	5 人	2 人	178 人
	△2 人	—	—	—	△1 人	△2 人	—	△1 人	△6 人
機構医師 再雇用職員 嘱託職員	77 人	10 人	3 人	2 人	23 人	8 人	—	—	123 人
	1 人	—	△1 人	—	△2 人	2 人	—	—	—
合 計	149 人	10 人	29 人	12 人	57 人	37 人	5 人	2 人	301 人
	△1 人	—	△1 人	—	△3 人	—	—	△1 人	△6 人

※役員（専務理事、医療監、研究監）及び 5 所属所長（山形、庄内、最上、米沢、南陽）の 8 名を除き集計。

※医療技術職の管理職 2 名（技師長除く）は事務職に集計。

※嘱託職員は年間の雇用人数。

※上段は平成 31 年 3 月 31 日の人数、下段は対前年度との増減人数を記載。

附属明細書

当該事業報告の記載をもって、附属明細書の記載を省略します。

